

- I. 教科書P6～P7までの「ビジネスと情報システム」の問題です。教科書を読み、()に入る適切な語句を裏面の解答用紙に記入しなさい。

1 情報システム

企業は目的をもって経済活動を行う組織であり、その目的の達成のためにさまざまな構成要素が連携しあって活動している。このように、さまざまな構成要素が連携しあって目的を達成するしくみを(①)という。会計システムのように情報を効率的に記録、加工し、利用するためのシステムを(②)とよぶ。

2 情報システムの目的

仕入、製造、販売などの企業活動の中心となる業務(基幹業務)を処理する(③)は、業務の効率化をはかるシステムの代表的な例であり、ビジネスの情報化の中心的な役割を担っている。

基幹業務システムの例

(④) 会計や財務に関するデータ処理を行う。

(⑤) 販売に関するデータ処理を行う。

(⑥) 仕入に関するデータ処理を行う。

(⑦) 在庫に関するデータ処理を行う。

(⑧) 顧客に関するデータ処理を行う。

- II. 教科書P8からP9までの「業務の改善と情報システム」の問題です。教科書を読み、()に入る適切な語句を裏面の解答用紙に記入しなさい。

1 情報システム戦略

情報システムの導入にあたっては、会社全体の活動を長期的に計画する経営戦略の実現のために、情報システムをどう構築するかという(①)を策定することがたいせつである。

2 課題の把握と業務の改善

(1) 現状の把握

業務がどのように行われているかを把握する。このとき業務をさまざまな構成要素が連携して活動するシステムとしてとらえ、その構造を明らかにする必要がある。そのための技法として(②)や(③)などがある。

(2) 問題の発見

データ収集の方法としては、すでにある文書や資料を調査する資料調査やアンケート、(④)などがある。また、収集したデータの分析、整理の技法には、データのグラフ化、ヒストグラム、パレート図、散布図などの図式化の技法や、(⑤)などがある。

(3) 代替案の策定と実施

数値的なモデルを作成して、最適な解決策を導き出す技法は(⑥)と呼ばれる。

裏面へ続く――>

4 年 ビジネス情報 課題 1 氏名 ()

解答欄

I	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	
	⑦		⑧	
II	①		②	
	③		④	
	⑤		⑥	